

青森県民生協「夕食お弁当宅配サービス」の食品添加物自主基準

青森県民生協の「夕食お弁当宅配サービス」では、当生協が加盟する「生活協同組合連合会 コープ東北サンネット事業連合」の食品添加物自主基準に従い、青森県民生協「夕食お弁当宅配サービス」の食品添加物自主基準として運用します。

【 基本的な考え方 】

1. 不必要な添加物は使わない。
2. 使う場合は最低限の量に限る。
3. 安全性に問題がある添加物は使わない。

【 不使用添加物 10 品目 】

不使用添加物とは、遺伝毒性発がん物質及び日本生協連のリスク評価において安全性を量的に判断できる科学的根拠が確認できないもの物など、安全を見込むことができない食品添加物です。法的には認められていても、青森県民生協の「夕食お弁当宅配サービス」では、お弁当の製造での不使用添加物(10 品目)は一切使用を認めないものとします。

不使用添加物 10 品目

No	名 称	主な用途
1	臭素酸カリウム	製造用剤
2	食用赤色 104 号	着色料
3	食用赤色 105 号	着色料
4	デヒドロ酢酸ナトリウム	保存料
5	パラオキシ安息香酸イソブチル	保存料
6	パラオキシ安息香酸イソプロピル	保存料
7	パラオキシ安息香酸ブチル	保存料
8	パラオキシ安息香酸プロピル	保存料
9	グレープフルーツ種子抽出物	製造用剤
10	単糖・アミノ酸複合物	酸化防止剤

【 使用制限添加物 42 品目 】

使用制限添加物とは、制限する内容を品目別に確認して、青森県民生協「夕食お弁当宅配サービス」のお弁当に使用できる食品添加物です。

具体的には、安全性を量的に判断できる科学的根拠はあるが、「不純物や代謝物に安全上の問題があるもの」「純度など成分規格に不十分な点があるもの」「国が評価していない新しいリスク要因が懸念されるもの」のうち、使用制限することが可能で、それによりリスク低減を図ることができる添加物です。

青森県民生協の「夕食お弁当宅配サービス」では、使用制限添加物(42品目)は原則として使用しませんが使用に際しては、成分規格・使用基準等、使用上の適格性等に細心の注意を払い、対象食品の限定等も併せて、必要最少量の使用に努めます。

青森県民生協の「夕食お弁当宅配サービス」では、お弁当で使用する社外製造の使用制限添加物が含まれる食材は極力取り扱わないこととします。一般メーカー品についても、生協の食品添加物基準をクリアした食品だけを取り扱います。

使用制限添加物 42品目

No	名 称	主な用途
1	安息香酸	保存料
2	安息香酸ナトリウム	保存料
3	イマザリル	防かび剤
4	エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	酸化防止剤
5	オルトフェニルフェノール及びオルトフェニルフェノールナトリウム	防かび剤
6	過酸化ベンゾイル	製造用剤
7	カンタキサンチン	着色料
8	食用赤色 40 号及びそのアルミニウムレーキ	着色料
9	食用赤色 106 号	着色料
10	食用黄色 4 号及びそのアルミニウムレーキ	着色料
11	食用黄色 5 号及びそのアルミニウムレーキ	着色料
12	食用青色 2 号及びそのアルミニウムレーキ	着色料
13	チアベンダゾール	防かび剤
14	二酸化チタン	着色料
15	ポリソルベート 20	乳化剤
16	ポリソルベート 60	乳化剤
17	ポリソルベート 65	乳化剤
18	ポリソルベート 80	乳化剤
19	ウェランガム	増粘安定剤
20	アルミニウム	着色料
21	エレミ樹脂	増粘安定剤
22	カラギナン	増粘安定剤
23	カンゾウ抽出物	甘味料
24	カンゾウ末	甘味料
25	グアヤク脂	酸化防止剤
26	α -グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア	甘味料
27	酵素分解カンゾウ	甘味料
28	酵素分解リンゴ抽出物	酸化防止剤
29	サイリウムシードガム	増粘安定剤

30	植物炭末色素	着色料
31	ステビア抽出物	甘味料
32	ステビア末	甘味料
33	ツヤプリシン(抽出物)	保存料
34	ファーセララン	増粘安定剤
35	ブドウ種子抽出物	酸化防止剤
36	ブラジルカンゾウ抽出物	甘味料
37	ペクチン分解物	保存料
38	ϵ -ポリリシン	保存料
39	マスチック	ガムベース
40	ラック色素	着色料
41	L-ラムノース	甘味料
42	ログウッド色素	着色料